

マガジン 2008年1・2月号 Vol.25

MYD

マイドーム

ME

大阪府総合ビジネスポータルサイト「まいどーま(む)創都ビジネスインフォ」でもご覧いただけます。

<http://www.mydome.jp>

「風の発信地」Vol.5

心齋橋を大人のストリートに。
「そごう再生」で街の風景が変わった。

特集 (明日に活かす)

「守り」だけでなく、「攻め」にも活かす 中小企業の コンプライアンス対策

- 関根法律事務所 関根 幹雄氏
- 株式会社ソダ工業 取締役社長 曾田 勇作氏
- 株式会社オンテックス 代表取締役会長 兼 CEO 小笹 公也氏

経営・創業のための、あれこれ相談室

「07年問題」はわが社にとっても難題ですが、
日々の生産に追われて、
具体的な対策を考えられません。

- 下請取引動向調査
- 発注・受注希望内容一覧表

この経営者に聞く

日本におけるポッドキャストの
一線級企業として、アメリカへ。

INFORMATION

大阪産業振興機構からのお知らせ

AREA INFORMATION

地域情報

PICK UP

- マイドームおおさかの催しから
- 株式会社川嶋サンクスフェアin大阪
- JOBフェア

EVENT GUIDE

マイドームおおさか催事カレンダー



【今回のポイント】
先行しているアメリカに新り込むのに「同じ道を歩かす」
例えその道が険しくても、別の道を歩く。
それがベンチャー企業たる所以ですよ。

株式会社ポイズンシク 代表取締役 木ノ川 義英氏



財団法人 大阪産業振興機構

Osaka Industrial Promotion Organization

社内コンテストやメルマガなどを駆使して コンプライアンスを社内に周知徹底

ご紹介するもう一社は、テレビCMでもお馴染みの(株)オンテックス。一般住宅の外壁塗装工事などを主な事業としているが、最近、悪徳リフォーム企業が多く取り沙汰されるなか、とりわけ厳しいCSRを自らに課すことで企業としての信用を獲得することに努めている。



利用者の評価を必ず、アンケートなどで調査。高い評価を得た担当者表彰される

まず、「コンプライアンス行動規範」を社内はもちろん、対外的にもホームページで開示しているほか、隔週で、営業から施工管理、総務課、労務課など全部署の部門長を集めてのCSR会議を開き、



スローガンの優秀作品や行動規範などを掲示して、全社員への意識付けを行っている

スローガンの優秀作品や行動規範などを掲示して、全社員への意識付けを行っている。そのほか、社内の掲示物や毎日発行される社員向けメルマガもコンプライアンスの啓発のために活用されている。全社員を対象とした「スローガンコンテスト」も4半期ごとに実施、優秀作品は表彰されるという。

もちろん、お客様の直接の窓口となる営業マンについては、コンプライアンスマニュアルに基づいた活動が求められるばかりでなく、定期的に「営業コンプライアンス規程内容掌握テスト」も行われるという徹底ぶり。それもこれも、「信頼と安心が絶対の条件であり、品質と評判が販売の生命線である」としているからだ。代表取締役会長でありCEOの小笹公也氏は「悪質業者が横行している今日、ここまでしてこそ、他社との差別化を図ることができます。実際、お客様へのアンケートの回答内容からも、高い満足を得ていることがわかります。お客様から最も高い評価を得た社員は、営業、監理、施工の誰でも表彰されます。当社では、売上という数字のみの評価はしないのです」と語る。昨今の問題とされる悪質なリフォーム業者の多くが、売上数字を上げんがために無理をした活動を行っているのと一線を画そうということだ。

環境に配慮した 独自の製品や工法を開発

また、オンテックスは、環境に配慮した自社独自の製品や工法も開発している。例えば、一戸建てだけでなく集合住宅などの外壁、公園や道路のアスファルト舗装面の温度の上昇を抑える遮熱塗料サーモテクトは都市部のヒートアイランド対策への効果が期待されている。塗るだけで4~5℃の断熱効果があるという住宅外壁用塗料は、その工法とともにオンテックスのオリジナル。「しかし、そうした塗料を開発しても、規定通りの厚みに塗装しないと断熱効果を発揮しません。薄めて使われたのでは意味がないのです。そのために、現場では必ず自社社員による検査を行い、規定通りに施工されているか厳密にチェックします」と小笹会長。オンテックスという企業ブランドを守るためにも、多くの現場に携わる協力会社に対して、研修で技術的なことはもちろん、お客様へのマナーやモラルについても指導。



テレビCMでもお馴染みの住宅外壁用塗料「E-テックス」は、その優れた外断熱効果により、省エネだけでなく、壁内結露を抑え住宅寿命を延ばす効果があると高い評価を受けている



豊富なバリエーションを持つ「オルテックウォールS」は、高級感や質感を重視した外壁材

お客様の評価や技術的レベルに合わせてランク付けを行い、ランクアップとともに単価も上がる仕組みにしている。さらに確かな技術者を育成しようと、足場から吹付け、瓦葺き、

左官、板金などの技術を独自のカリキュラムで習得させる「オンテックス・テクニカルスクール」を来春の開校をめざして建設中だ。

塗料という製品を扱っているうえで、廃棄物の処理にも留意。協力会社が施工した分も含めてすべての空いた塗料缶はオンテックスが回収、処理している。さらにユニークなところでは、毎朝、本社周辺の地域清掃を社員に義務づけていることだろう。地下鉄長居駅までの道中を小中学校の通学路を中心に、タバコの吸い殻などのゴミ拾いや自転車の整列などを行っており、これらの活動に対しては、大阪市から2回表彰されている。

ここまでCSRを徹底する理由とは何か。小笹会長にうかがった。「未来永劫に発展することが会社の使命です。コンプライアンスはその基本中の基本。法も守れないモラルの低い人間が社員であっては、企業の成長はあり得ません。私はそう考え、社内に法務室を設置。法の改正などがあれば、コンピュータでデータベース化し、どの社員ともその内容の共有化を図っています」。



最近、オンテックスの営業担当が訪問した先のお宅で、認知症のお年寄りが悪質な工事をされていたことが判明。

消費者センターに連絡したところ、センターを通じて自治体がお年寄りの対応をされたという。業界全体のモラルアップも、ひいては自社の発展のためには重要と小笹会長は考えている。



▲本体外観

オンテックスほどのコンプライアンス対策を取ることは、コスト面でも難しい。しかし、関根弁護士は自社の体力に合わせたコンプライアンス対策を今日から始めることが大切と語る。「インターネットなど、今日は情報収集がしやすい時代です。何もコンサルタントなどをつけてお金をかけなくても、自分たちの事業に関連している法にはどのようなものがあるか洗い出し、その内容を調べることから始めればよい。官公庁のホームページにも載っていますし、直接、窓口に行ってみてもよいのです。最近は各自治体で無料の法律相談窓口を設置していますから、そういったものを活用すればお金をかけずにすみますよね。まずは、自社の継続的な発展のために、コンプライアンスへの意識を高めることです。」



コンプライアンスが、企業名が表に出てダメージを受ける大企業にだけ関係あるものと思われていては、大きなしっぺ返しを食うことになる。取引停止などの社会的制裁を受けることもあるだろう。しかし、今回、積極的に対策をとっている2社への取材を通して実感するのは、そのような受け身の発想ではない。コンプライアンスとは、財務管理の健全化、社員のモラルアップ、モチベーションアップを図る経営戦略だったのである。

株式会社オンテックス 代表取締役会長兼CEO

小笹 公也(おぎさ・ともや)氏

1963年、大阪府生まれ。中学校を卒業後、塗装アルバイトをしながら、ボクサーの道へ。その後、プロボクサーライセンスを取得したが、就職した塗装会社から21歳の時に独立。1988年には(株)オザサを設立(2000年に現在の社名に変更)。現在、同志社大学商学部を籍を置く現役の大学生でもある。一方、米国ランバード大学から「人文学名誉博士号」を受賞し、同大学の理事に就任。その異色の経歴については多くのマスコミでも紹介された。著書に「すべての汗は報われる」(経済界)がある。

■株式会社オンテックス

大阪市住吉区阿部2-15-5 <http://www.ontex.co.jp>
TEL 06-6699-4116 FAX 06-6699-4111

PROFILE



小笹会長によるコンプライアンス対策のポイント

- 庶務、労務、営業から施工監理まで、全社員に周知徹底させることが重要
- お客様満足を第一とする評価システムの採用で社内外スタッフのモラルアップを
- 「高い倫理観」を対外的に示すことで、他社との差別化に成功